

移植医療に携わっておられます看護職の皆様へ

今年の 1 月から徐々にその脅威を知らしめてきた新型コロナウイルスの影響が日本全土に大きな厄災を起こしています。特に免疫力が低くなる移植医療に置きまして、臨床におられる看護職の皆様の疲労は如何ばかりかと拝察いたします。移植医療は緊急を要することが多く、臨床の皆様が感染者になった場合、患者さんへの影響は大きなものがあります。そのため精神的にも身体的にも大きな負担となっていることと思います。しかし、移植医療を担う皆さまの英知を集め、新型コロナウイルスに立ち向かっていかねばなりません。日本移植・再生医療看護学会としても、移植医療の臨床におられる看護職の皆様に感謝を申し上げ、何とかこの局面が早く過ぎ去ることを願っております。それまで、皆様におかれましては健康に十分留意されますことを祈念しております。

日本移植・再生医療看護学会
理事長 赤澤 千春